

社会資本総合整備計画(第1回)

南武線駅アクセス向上等整備事業

平成28年2月

神奈川県川崎市

社会資本総合整備計画

平成 28年2月

計画の名称	南武線駅アクセス向上等整備事業		
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度 (5年間)	交付対象	川崎市
計画の目標			

J R南武線については、渋滞や踏切部の解消・環境改善等に向け、武蔵小杉駅から武蔵溝ノ口駅間の連続立体交差化が完了し、尻手駅から武蔵小杉駅間については、連続立体交差事業の事業実施に向けた関係機関との協議・調査等を進めている。こうした中、武蔵溝ノ口駅以北の5駅については、片側改札口となっていることから、駅へのアクセス向上が求められている。このため、関係機関との協議等を踏まえ、鉄道による地域分断の改善や安全性・利便性の向上など駅へのアクセス向上に向けた取組を推進する。

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 稲田堤駅の改札口に隣接する踏切の、踏切歩行者約22,000人/日を約3,000人/日に削減 津田山駅の改札口に隣接する踏切の、踏切歩行者約5,000人/日を約2,000人/日に削減
-----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H 末)	最終目標値 (H28末)							
稲田堤駅の乗降人員は約45,000人/日 ^{**} である。改札口に隣接する踏切の歩行者は約22,000人/日 ^{**} であり、この踏切歩行者数を、自由通路及び橋上駅舎等の事業の完成後に調査する。 ※乗降人員はJ R東日本HPに掲載されている乗車人員を2倍し乗降客数とした。踏切歩行者数は踏切道調査表 (神奈川県調査) の数値。	約22,000人/日		約3,000人/日							
津田山駅の乗降人員は約7,000人/日 ^{**} である。改札口に隣接する踏切の歩行者は約5,000人/日 ^{**} であり、この踏切歩行者数を、自由通路及び橋上駅舎等の事業の完成後に調査する。 ※乗降人員はJ R東日本HPに掲載されている乗車人員を2倍し乗降客数とした。踏切歩行者数は踏切道調査表 (神奈川県調査) の数値。	約5,000人/日		約2,000人/日							
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,405百万円	A	4,405百万円	B	-	C	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	交通	一般	川崎市	直接	川崎市	稲田堤駅周辺地区都市交通システム整備事業	自由通路、橋上駅舎等	川崎市						3,116	
1-A-2	交通	一般	川崎市	直接	川崎市	津田山駅周辺地区都市交通システム整備事業	自由通路、橋上駅舎等	川崎市						1,289	
合計													4,405		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	39	80	0		
計画別流用 増△減額 (b)	0	△ 74	0		
交付額 (c=a+b)	37	6	0		
前年度からの繰越額 (d)	0	36	6		
支払済額 (e)	3	36	6		
翌年度繰越額 (f)	36	6	0		
うち未契約繰越額 (g)	36	6	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	△ 2	0	0		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	91.9%	14.3%	0.0%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	用地取得における協議に不測の日数を要したため	用地取得における協議に不測の日数を要し、工事着手が遅れたため			

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考図面)

計画の名称	南武線駅アクセス向上等整備事業	交付対象	川崎市
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度 (5年間)		

● **事業の概要** - 図1参照

JR南武線の武蔵溝ノ口駅以北の5駅については、片側改札口となっていることから、駅へのアクセス向上が求められている。
 このため、関係機関との協議等を踏まえ、鉄道による地域分断の改善や利便性・安全性の向上など駅へのアクセス向上に向けた取組を推進している。

● **課題** - 図2、3参照

- ① 線路片側にしか改札口がない。
- ② 改札口の反対側からの駅アクセスには踏切横断が必要であり、踏切遮断時間が長く、不便である。
- ③ 踏切遮断時に多くの歩行者が滞留し、自動車との接近等の危険性がある。また、踏切を通学路として横断している児童にとって、危険性が高い。

● **整備方針（自由通路・橋上駅舎）** - 図4参照

- ① 自由通路と橋上駅舎の整備により、踏切を渡らずに、線路の両側から駅の改札口へアクセス可能となる。
- ② 自由通路の整備により、踏切を渡らずに、自由通路を通して、線路反対側の地域に行くことも可能となる。
- ③ 駅前利用者の動線等を踏まえ、人の待ち合わせ等が可能なスペースなど、駅前空間を整備する。



図1 南武線駅アクセス向上等整備事業対象駅位置図



図2 稲田堤駅現況図



図3 津田山駅現況図

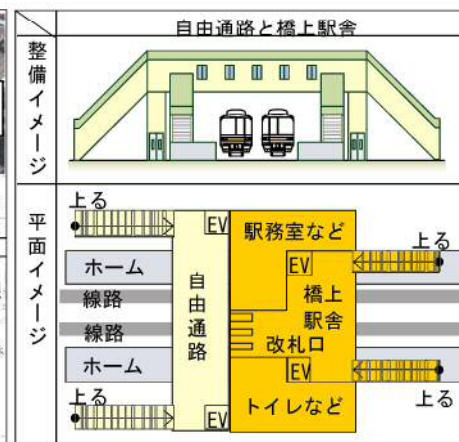


図4 自由通路と橋上駅舎の整備イメージ

※ 整備イメージと平面イメージは一般的なイメージを示したものであり、整合したものではありません。